

# 龍江の盛土を考える講演会

## 開催のご案内

飯田市龍江の残土処分問題については、安全性の観点から計画の解消を要望してきましたが、未だ検討には至らず、受入れを行う工程が公表されています。

このため、番入寺西候補地計画の危険性を改めて考え、土石流危険渓流や谷への盛土を行わない世論を喚起したいと思います。

今回は、これまでの学習内容を総括し、最新の知見により熱海の土石流災害や盛土の法規制も含め、下記により公開講座を開催しますのでご案内させていただきます。

日時 令和4年11月19日(土)  
午後2時～  
(受付：午後1時30分～)

場所 飯田市龍江公民館 大会議室  
(飯田市龍江4517番地)

### 講演会

講師 桂川 雅信 先生  
(技術士・環境カウンセラー・中川村議)

演題 『熱海土石流事件から何を学ぶか』  
～ 谷埋め盛土の「最悪の事態」とは? ～



R3.7 熱海市土石流災害  
国土交通省HPより

### 講師プロフィール

1946年生まれ。東京農工大学農学部卒業。公務員として約20年間、下水道の計画やシールドトンネルの設計に携わる。水問題の研究活動をはじめ、北海道教育大学、三重大学の非常勤講師、釧路湿原自然再生協議会構成員、滋賀県立水環境科学館長、子供の科学教育研究所長等を歴任し、全国の川や湖沼を巡り水環境の改善と地域環境計画の策定や環境教育に従事。2010年ネット上にて「全国水の相談所」を開設。2012年より上伊那郡中川村在住。中川村村議会議員。日本科学者会議長野県支部幹事。

水と土の専門家として、各地のリニア対策委員会等でも助言されています。  
著作に「環境展望第3巻」(実教出版)、「環境辞典」(旬報社)、「よくわかる水問題一問一答」(合同出版)その他多数。

申込みは不要です。

資料は先着50名様まで準備します。資料代300円のご負担をお願いします。

(資料は、先生が執筆された学術誌「日本の科学者」11月号です)

感染警戒レベル等により、入場制限や延期させていただく場合があります。

質疑応答を含め、午後4時30分までに終了する予定です。

駐車場は龍江公民館前のほか、JA龍江事業所・JA旧龍江選果場をご利用ください。



熱海土石流災害  
消防庁HPより

みんなで学び  
みんなで考えよう!

### 『龍江の盛土を考える会』

会長：林 平吉 副会長：林 宗吉・小木曾 悦人  
ほか役員一同

お問い合わせ先(事務局)： 090-4704-1466  
小木曾まで

# 『龍江の盛土を考える会』のあゆみ

令和4年9月末現在

『龍江の盛土を考える会』は住民有志の会として、飯田市龍江(番入寺西)の残土処分計画について有識者を交え慎重に検討して参りました。

住民参加の学習会により“みんなで学び・みんなで考えて、参りましたが、回避できない重大な危険性が判明したため、昨年3月に計画の取り下げを要望させていただきました。

令和元年 JR東海による住民説明会が開催  
(6月：流域説明会、8月：龍江地区説明会)

川を埋める安全性に対する数々の懸念や不安の声  
計画の中止や反対意見、地域での合意形成を求める声が噴出



令和元年9月 住民組織『龍江の盛土を考える会』を発足

会の理念は、単に不安を訴えるのではなく、有識者による学習会を開催し  
安全性への知識を深め、科学的な知見に基づき計画の可否をみんなで評価



## 主な学習概要

- 第1回(R1.10) 桂川雅信先生 (技術士・環境カウンセラー・中川村議ほか)  
「川埋め盛土の安全性について」
- 第2回(R1.12) 松島信幸先生 (理学博士・伊那谷自然友の会常任委員・飯田市美術博物館顧問ほか)  
「私たちの大地」～龍江・清水川流域の地質学的特徴～
- 第3回(R2. 2) 後藤武志先生 (飯田市危機管理室次長補佐・総務省消防庁アドバイザー・危機管理士ほか)  
「自然災害への備えとは」
- 第4回(R2. 7) 木下義彦先生 (地盤工学会正会員・信州大学自然環境診断マイスターほか)  
「清水沢川を歩く」～土石流危険溪流への盛土を考える～
- 第5回(R2.11) 今村理則先生 (気象予報士・南信州地域資料センター理事ほか)  
「盛土予定地の気象と地名」～小字地名と災害・飯伊の7月豪雨～
- 第6回(R3. 3) 村松武先生 (飯田市美術博物館専門研究員(地質担当)ほか)  
「龍江のリニア残土 盛土計画を考える」～谷を埋める龍江の計画に対する考察～

このほかに、先生方を交えた現地研修会(1回)や会員の集い(4回)等を開催し計画を評価

各分野の先生方からは、候補地の特性(地形や地質)、自然現象(降雨や地震)等により土石流危険溪流の中流域の谷を埋め尽くす盛土は、大規模な土砂災害(活動崩落)を招く重大な危険性が指摘。

当会では、これらの学習内容を踏まえ“盛土を行うべきでない、と最終的に結論。



- 令和2年 3月 龍江地域づくり委員会に『候補地計画の再考』を要望
- 令和2年12月 龍江地域づくり委員会に『候補地として不相当』と申し入れ
- 令和3年 3月 JR東海、飯田市、龍江地域づくり委員会、龍江地区JR埋め土対策委員会、地元  
選出飯田市議会議員に『候補地計画の取り下げ』を要望

これらの要望は、残念ながら現在に至るまで検討されていませんが  
流域住民や複数の地権者等が計画を否定され、もはや候補地計画は頓挫したと判断しています